

No.	009	—	2001	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	東温市在住の65歳以上の高齢者です。				根拠法令	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例						
	事業の目的	最終的	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。			今年度	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。						
	活動内容	①	受給資格者から、施術機関において施術を受けた書類の申請を受け付けます。			④							
		②	内容を審査し確認した上で、助成金を支給します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定に なじまない。		年間延べ数 (参考として申請件数を記載し ています。)		件	目標	—	—	—			
					実績	1,647	1,456						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	280千円	262千円	0千円								
		一般財源	1,367千円	1,194千円	1,700千円								
	計(A)	1,647千円	1,456千円	1,700千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.145人	872千円	0.145人	873千円					
		臨時職員工数・経費	0.145人	273千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,920千円	2,328千円	2,573千円								
一次評価者	高齢福祉	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内65歳以上の全ての高齢者が対象のため、介護予防の観点からも、高齢者福祉の推進に必要です。												
有効性	市において、類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続して利用されている方も多いため、市内の高齢者福祉の推進に対して有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、市民の継続したサービス利用が行われており、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	引き続き後期高齢者広域連合会からの補助金を受け、効率的な事務運営を執行できました。												
当面の課題	申請数に比べ利用者数が少ないため、事業の周知徹底を図る必要があります。												
改訂計画	定期的に広報に掲載し、民生委員会等で呼びかけを行い、市民へのサービスの周知徹底を図ります。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	この事業は、高齢者の健康の保持・増進や介護予防を目的として実施しているものであり、対象となる高齢者に幅広く利用してもらえよう、引き続き制度の周知を図る必要があります。												

No.	009	—	2002	事務事業名	緊急通報体制整備事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	75歳以上の独居高齢者または高齢者のみの世帯です。				根拠法令	東温市緊急通報装置設置要綱						
	事業の目的	最終的	緊急時の連絡体制を確保することで、高齢者福祉の推進を図ります。			今年度	緊急時の連絡体制を確保することで、高齢者福祉の推進を図ります。						
	活動内容	①	サービス利用の申請書を受け付けます。				④	課税状況に応じて、個人負担金を徴収します。					
		②	必要な事項を調査し、利用の可否を決定します。				⑤	委託業者から毎月委託料の請求があり支払いの手続きをします。					
		③	決定後、委託業者が機器の設置を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
		事業の性質上、指標設定になじまない。		設置台数 (参考として利用者数を記載しています。)			台	目標					
						実績	144	133					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,044 千円	986 千円	980 千円								
		一般財源	3,229 千円	2,986 千円	3,343 千円								
	計(A)	4,273 千円	3,972 千円	4,323 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.105 人	640 千円	0.105 人	631 千円	0.105 人	632 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,913 千円	4,603 千円	4,955 千円								
一次評価者	高齢福祉	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内高齢者の見守りが綿密に行われています。独居高齢者の申請が増えており、引き続き事業の必要性を多分に実感しています。												
有効性	高齢者の緊急時の連絡や迅速な対応、安否確認を進めていくため有効な事業です。年数回の緊急連絡があり、協力員等を通じ、迅速に対応しています。警備員による駆けつけサービスにより協力員の負担が軽減されています。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、高齢者の夜間等の不安感や、独居老人の安否確認等を実施可能であり、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	現在の委託契約額で効率的に高齢者の安全の確保が達成できています。												
当面の課題	委託料に対し利用者負担金の占める割合が低く財政の圧迫につながっています。また、利用者に対し定期的に現状確認を行い事業内容・方法の見直しを検討する必要があります。平成27年度に委託契約が終了するので拡充を含めた事業内容の検討が必要です。												
改 革 画	負担金の見直し、現況調査の実施等サービス全体の修正が必要です。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなか、緊急時において迅速かつ適切な対応が行える体制整備は、安心安全な在宅生活を送るために不可欠な事業ですが、利用者負担金やサービス内容等について検討する必要があります。												

No.	009	—	2003	事務事業名	地域包括支援センター活動支援事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	市内の在宅介護支援センターである、ウェルケア重信及びガリラヤ荘です。				根拠法令	東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱						
	事業の目的	最終的	市内の高齢者福祉の増進を図ります。			今年度	市内の高齢者福祉の増進を図ります。						
	活動内容	①	委託契約を締結します。			④	毎月委託事業所から実績報告を受け付けます。						
		②	市民からの在宅介護等に関して各種相談支援に総合的に応じます。			⑤							
		③	委託料を年2回に分けて支払います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。				目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円								
	計(A)	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.097 人	591 千円	0.097 人	583 千円	0.097 人	584 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,967 千円	5,959 千円	5,960 千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内高齢者の相談窓口、高齢者実態把握調査等を委託しています。また、高齢者に対してサービスの周知、申請書提出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。												
有効性	情報の収集が困難な高齢者に対し、ブランチは有効です。高齢者福祉の充実を促進していくために、活動内容は適切です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、サービスの周知徹底を行い、市内高齢者福祉の推進を図ります。												
効率性	サービスの申請時には利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が進められています。また、専門のノウハウを所有しているため、効率的な事業運営を進めることができます。												
当面の課題	市民に対する福祉サービスの周知徹底及び充実が求められます。また独居高齢者の実態把握調査を行う必要があります。												
改訂計画	地域包括支援センターをとおり、ブランチに独居高齢者の実態把握調査強化を依頼します。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	地域包括支援センターのブランチ(支所)としての機能を有する在宅介護支援センターは、高齢者からの相談を受けたり、介護支援サービスの情報提供・総合調整など、高齢者の在宅生活を支援する重要な役割を担っています。今後とも引き続き活動に対する支援を行い、高齢者が住みなれた地域で生活できるよう、各種相談支援の推進に努めてください。												